教育部門 受賞者

麻原 きよみ

大分県立看護科学大学 理事長・学長

保健師による地域づくりの手法や、汎用性ある地域医療モデル構築に寄与

麻原 きよみ
Kiyomi Asahara

大分県立看護科学大学
理事長・学長

1981年、聖路加看護大学衛生看護学部衛生看護学科卒業。1991年、同大学大学院看護学研究科博士前期課程修了(看護学修士)。1997年、東京大学大学院医学系研究科博士後期課程修了(博士(保健学))。1981年、長野県松本市 保健師。1991年、信州大学医療技術短期大学部 助手。1995年、長野県看護大学 助教授。1999年、信州大学医療技術短期大学部 教授。2002年、信州大学医学部保健学科 教授。2003年、聖路加看護大学 教授。2020年、聖路加国際大学大学院看護学研究科 研究科長。2024年、大分県立看護科学大学 理事長・学長に就任(現在に至る)。2018年、日本公衆衛生看護学会理事長(2026年6月まで)。2023年、日本地域看護学会 理事長(2025年6月まで)。2026年、日本看護系大学協議会 代表理事(現在に至る)。

推薦者

酒井 郁子	公益社団法人日本看護科学学会　理事長	玉井 保子	公益社団法人大分県看護協会　会長
大森 純子	一般社団法人日本公衆衛生看護学会　理事長	堀内 成子	聖路加国際大学　学長
臺 有桂	一般社団法人全国保健師教育機関協議会　会長	八尋 道子	一般社団法人日本看護倫理学会　理事長

保健師による地域づくりを体系化

麻原氏は大学卒業後、保健師として個別訪問と支援を重ねる中で、ある家族と出会う。寝たきりの義理の両親をお嫁さんが介護しており、「もう限界です。これ以上は看られません」と訴えられた。だが当時は介護保険制度が未整備で、有効な支援策を提示できない無力感に苛まれたという。こうしたケースに何度も出会い、麻原氏は「自治体の中で、支援制度等の仕組みや、地域づくりを進めることが、保健師の重要な役割なのではないか」と考えた。しかし当時は、地域づくりの定義や、具体的な方法論は体系化されていなかった。大学院へ進学後、アメリカ公衆衛生学会に出席した際、CBPR[*1]という手法に出会う。地域住民と保健師が対等なパートナーシップを組み、健康課題の解決や地域づくりに取り組むというもの。このCBPRを日本に持ち帰り、研究・実践・普及活動をしたことにより、現在では全国の地域保健活動に応用されている。

また麻原氏は、技術論ばかりに目が向きがちな保健師教育に一石を投じる。「技術」と「倫理的態度」は両輪であるとの考えから、“倫理的に考える力”を備えた保健師の育成に力を注いだ。たとえば、母親は精神疾患、子には障がいがあり、父親は無職という困難事例。よくあるケースだが、その方がより良く生きるにはどう支援をしたらいいのか、自分たちは何のために働き、人々のために何ができるのかなど、倫理的に考え、実践する教育ツールを開発。大学院等において、倫理的実践能力を備えた保健師を育成している。

2010年頃から「公衆衛生看護の倫理」についての研究を実施。学会や論文での発表等を行った。当時、この分野の授業を行っている大学・大学院は皆無だった。

地域発の医療モデルを全国へ

こうした資質を有する保健師の実践の場となったのが、福島第一原発事故後の地域保健活動だ。麻原氏のチームは、事故の半年後に放射線影響下の現地に入り、自治体保健師や放射線防護の専門家などと協働で、地域住民への支援と調査にあたった。当時は専門家による講義で、一般的な放射線防護行動を伝えていたが、住民の不安は軽減されなかった。麻原氏のチームは、自治体保健師が既存の事業において、膝詰めで住民の不安に耳を傾け、地元の言葉で個別に対話を重ね、住民に決定を委ねる実践方法の必要性を明らかにしていった。これにより住民たちは本音が話せるようになり、「ペットボトルの水しか飲まない」「外遊びは一切させない」などの思い込みによる行動の改善につながっていった。ありのままを受けとめ、共に考えるという“誰一人取り残さない”保健師の活動が真価を発揮した。

また麻原氏は、高度実践看護師であるNP[*2](診療看護師)の育成や、NP を中心とした全国展開可能な地域医療モデル構築にも力を注いでいる。「大分県の人口は全国の100分の1であるため、全国で起きていることの縮図であり、医療の偏在が進む大分の実情は全国の課題でもある。この地で、治療と看護ができるNPが活躍する地域医療モデルが確立できれば、医療資源の偏在に悩む地域の課題解決につながる」と語る。麻原氏の次世代への貢献は、たゆむことなく続いていく。

母子教室で車座になって、放射線についてのお母さん達からの質問に一つひとつ答えている(東日本大震災原発事故後の福島にて)。

*1 Community-Based Participatory Research の略
*2 Nurse Practitioner の略